

「ヨハネへの啓示」と私たちの将来

「アーメン！主イエス、来てください」。啓示 22:20 これらのことについて伝える者がこう言います。『私は速やかに来ます』。 「アーメン！主イエス、来てください」

142 番の歌 希望をしっかりと持ち続ける

何を学ぶか*これは、「啓示」の書について取り上げた一連の記事の第3部です。この最後の記事では、次の点を考えます。エホバに忠実を保つ人たちは、どんな素晴らしい将来が待ち受けていますか。神の統治に反対する人たちは、どんな悲惨な最期を迎えるでしょうか。

I. 私たちは今、どんな決定を迫られていますか。

1. 全ての人は、どんな重大な決定を迫られていますか。

今、人々は重大な決定を迫られています。宇宙を治める正当な権利を持っているエホバ神を支持するか、神の敵である邪悪な悪魔サタンを支持するか、という決定です。このことに関して、中立の立場はありません。この決定には、永遠に生きられるかどうかが懸かっています。（マタ

25:31-33 人の子は栄光を帯びて、全ての天使と共に来ると、その時、栄光の座に座ります。32 全ての国の人々が彼の前に集められ、人の子は、羊飼いが羊をヤギから分けるように、人々を分けます。33 そして羊を自分の右に、ヤギを自分の左に置きます、46 この人たちは永遠の死を迎え、正しい人たちは永遠の命を受けます）「大患難」の終わりまでに、人々は救いの印か滅びの印のどちらかを受けることになるのです。（啓 7:14 それ

で私がすぐその長老に、「それはあなたが知っておられます」と言うと、彼は私に言った。「これは大患難から出てくる人たちです。この人たちは、自分の長い衣服を子羊の血で洗って白くしました；14:9-11 さらに続いて3人目の天使が来て、大声でこう言った。「誰でも、野獣とその像を崇拜し、自分の額か手に印を受けるなら、10 その者は神の怒りのぶどう酒を飲むことになります。神の憤りの杯に薄めずに注がれたぶどう酒を飲むのです。またその者は、聖なる天使たちと子羊の前で、火と硫黄によって苦しめられます。11 その苦しみの煙は永久に立ち上り、野獣とその像を崇拜する者、野獣の名の印を受ける者は、昼も夜も安らぐことができません。エゼ 9:4 エホバはその者に言った。「この都市、エルサレムの中を巡りなさい。そして、この都市の中で行われているあらゆる忌まわしい事柄のために嘆き悲しんでいる人たちの額に、印を付けなさい」、6 老人も、若者も、乙女も、子供も、女性も、全て殺さなければならない。ただし、印がある人には近づいてはならない。私の聖なる所から始めなさい」。それで彼らは家の前にいた長老たちから始めた）

2. (ア) ヘブライ 10 章 35-39 節を読むと、どんなことをしたいという気持ちになりますか。 (イ) 「啓示」の書はどのように役立ちますか。

2 ヘブライ 10:35-39 それで、勇気(*大胆さ/気後れせずに語る態度)をなくしてはなりません。勇気は豊かに報われます。36 皆さんには忍耐が必要です。神の望むことを行った後、約束されたものを受けたためです。37 あと「ほんのしばらく」すれば、「来ることになっている方は到着します。遅れることはありません」。38 「私に仕える正し

い人は信仰のゆえに生きる」、また、「おじけづくなら、私はその人のことを喜ばない」とあります。39 私たちは、おじけづいて滅びに至る者ではなく、信仰を抱いて生き続ける者ですを読む。(ア)あなたがエホバの統治を支持することにしたのは、賢いことです。そして今度は、ほかの人が正しい決定をできるように助けたいと思っていることでしょう。(イ)そうする上で、「啓示」の書の内容は役に立ちます。この書には、エホバに反対する人がどうなるかに加えて、エホバの統治を忠実に支持する人にどんな祝福が与えられるかも載せられています。こうした重要な真理について考えるのは良いことです。エホバに仕え続けよう、という決意を強めることができるからです。また、学んだことを用いて、エホバの側に立ち、エホバに仕え続けるよう、ほかの人を助けることもできます。

3. この記事では、どんなことを考えますか。

3 この記事では、次の点を考えます。①神の統治を支持する人たちはどうなりますか。一方、②「啓示」の書に出てくる緋色の野獣を支持する人たちはどうなりますか。

忠実な人たちを待ち受けていること

4. 使徒ヨハネはどんなグループがイエスと共に天にいるのを見ましたか。

4 使徒ヨハネは幻の中で、エホバの統治を支持して永遠の命を受ける2つのグループを目にしました。1つ目のグループの人数は、14万4000人です。(啓7:4 そして私は、証印を押された人たちの数を聞いた。それは14万4000人であり、イスラエルの子孫の全部族の中から人々が証印を押された)これらの人たちは地から取られ、イエスと共に天の王国の政府を構成し、地上を治めます。(啓5:9, 10 そして長老たちは次のような新しい歌を歌っている。「あなたは巻物を受け取ってその封印を解くのにふさわしい方です。あなたはほふられ、自分の血で、あらゆる民族や言語や種族や国の人々の中から、神に仕える人たちを買い取ったからです。10 そして彼らを、私たちの神に仕える王および祭司とし、彼らは王として地上を治めるのです」; 14:3, 4 彼らは、王座の前および4つの生き物と長老たちの前で、新しい歌のような歌を歌っている。地から買い取られた14万4000人以外、誰もその歌を習得できなかった。4 この者たちは、女によって自分を汚さなかった。童貞なのである。そして、子羊が行く所にはどこにでも従っていく。彼らは神と子羊に捧げられる初物(*)として人類の中から買い取られたのである、) ヨハネは幻の中で、彼らがイエスと共に天のシオンの山に立っているのを見ました。(啓14:1 私がさらに見ると、子羊がシオンの山に立っていた。そして子羊と共に14万4000人の者たちがいて、彼らの額には子羊の名とその父の名が書かれていた)

5. 14万4000人のうち地上に残っている人たちは、間もなくどうなりますか。

5 使徒たちの時代から現代に至るまで、14万4000人となる人たちが選ばれてきました。(ルカ12:32 恐れることはありません、小さな群れよ。天の父は、あなたたちに王国を与えることを喜んでいます。ロマ8:17 子供なのですから、相続人でもあります。実に神の相続人(*)であり、キリストとの共同相続人です。ただし、共に栄光を受けるため、共に苦しむならばのことです)しかし、ヨハネは、それの人たちのうち、終わりの時代に地上で生きている人たちは少ない、と告げられました。これらの「残っている人たち」は、大患難が始まる前にエホバから良いと認められ、最終的な「証印」を押されます。(啓7:2, 3 さらに見ていると、別の天使が、生きている神の証印を持って、日の出の方角(*東)から上ってきた。その天使は

、陸地と海を損なうことを許された4人の天使に大声で呼び掛けて、3こう言った。「私たちが、私たちの神の奴隸たちの額に証印を押すまでは、陸地も海も木も損なってはなりません」；12:17 それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫(d*種)のうちの残っている人たち、すなわち、神のおきてを守り、イエスについて証言する務めを与えられている人たちと戦うために去っていった）その後、大患難の間のある時点で天に取られ、死に至るまで忠実を保ってすでに天に復活している者たちに加わります。そして、神の王国でイエスと共に統治を行います。（マタ 24:31 そして人の子は、大きなラッパの音と共に天使たちを遣わし、天使たちは、四方から、天の果てから果てまで、選ばれた者たちを集めます。啓 5:9, 10 そして長老たちは次のような新しい歌を歌っている。「あなたは巻物を受け取ってその封印を解くのにふさわしい方です。あなたはほふられ、自分の血で、あらゆる民族や言語や種族や国の人々の中から、神に仕える人たちを買い取ったからです。10 そして彼らを、私たちの神に仕える王および祭司とし、彼らは王として地上を治めるのです」）

6-7. (ア) ヨハネは次にどんなグループを見ましたか。そのグループについてどんなことが分かりますか。(イ) 天に行く人たちも「大群衆」も、啓示7章に注目すべきなのはなぜですか。

6(ア) ヨハネは次に、「大群衆」を見ました。14万4000人とは違い、このグループの人数は述べられていません。（啓 7:9, 10 その後、私が見ると、全ての国や民族や種族や言語の人々の中から来た、誰も数え切れない大群衆が、王座と子羊の前に立っていた。その人たちは白くて長い衣服を着て、ヤシの枝を持っていた。10 そして大声でこう叫び続ける。「私たちが救われたのは、王座に座っておられる私たちの神と、子羊のおかげです」）では、何か分かることがありますか。ヨハネはこう告げられました。「これは大患難から出てくる人たちです。この人たちは、自分の長い衣服を子羊の血で洗って白くしました」。（啓 7:14）この「大群衆」は、大患難を生き残った後、地上に住み、素晴らしい祝福を経験します。（詩 37:9-11 悪を行う人は取り除かれるが、希望を抱いてエホバを待つ人は地上に住み続ける(*地球が与えられる)。10 ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。彼らがいた場所を見ても、もういない。11 しかし、温厚な人は地上に住み続け(*地球が与えられ)，豊かな平和をこの上なく喜ぶ、27-29 悪から離れて善を行え。そうすれば永遠に生きられる。28 エホバは公正を愛する方。ご自分に尽くす(*を搖るぎなく支持する/から離れない)人を見捨てことはない。その人たちはいつも守られる。しかし、悪人の子孫は取り除かれる。29 正しい人は地上に住み続け(*地球が与えられ)，そこで永遠に暮らす。格 2:21, 22 正直な人だけが地上に住み、非難されるところがない(*忠誠を尽くす)人が地上に残るからである。22 悪人は地上から取り除かれ、不誠実な人は地上から除き去られる。啓 7:16, 17 この人たちはもはや飢えることも喉が渴くこともなく、照り付ける太陽の熱や焼け付くような暑さに襲われることもありません。17 王座の前(*真ん中)にいる子羊が、この人たちを世話し(*の牧者となり)，命の水の泉に導くからです。また、神はこの人たちの目から全ての涙を拭い去られます）

7(イ) 天に行くよう選ばれた人も、地上で生き続ける人も、啓示7章の預言の実現を経験している自分の姿を思い描くことができるでしょう。それは、エホバに仕えるどちらのグループにとっても、実に素晴らしい時となります。エホバの統治を支持することにして本当に良かった、と感じるに違いありません。では、「啓示」の書には、大患難についてほかにもどんなことが書かれているでしょうか。（マタ 24:21 その時、世界の始めから今まで起きたことがなく、いえ、二度と起きないような大患難があるからです）

神に反対する人たちを待ち受けていること

8. ①大患難の始まりとしてどんなことが起きますか。②多くの人々はどのように反応しますか。

8 前の記事で考えた通り、①この世界の政治体制は間もなく、大いなるバビロン（世界を惑わしている間違った宗教全体）を攻撃します。（[啓 17:16, 17](#) そして、あなたが見た10本の角と野獸は、娼婦を憎み、破滅させて裸にし、彼女の肉を食い尽くし、彼女を火で焼き尽くします。17神が、ご自分の考えを彼ら（10人の王のこと）の心に入れて実行させたからです。神の言葉が成し遂げられるまで、彼らが自分たちの王国を野獸に与えて、自分たちの1つの考えを実行するようにしたのです）この攻撃によって大患難が始まります。では、その結果、大勢の人がエホバを崇拜するようになるでしょうか。いいえ。それどころか、②啓示6章によると、エホバに仕えていない人たちは、山に例えられている政治体制や商業体制に保護を求めます。エホバは、神の王国を支持しないこれらの者たちをご自分に反対する者とご覧になります。（[ルカ 11:23](#) 私の側にいない人は私に敵対しており、私と一緒に集めない人は散らしています。[啓 6:15-17](#)）地上の王、高官、軍司令官、裕福な者、強力な者、また全ての奴隸と自由民は、洞窟や山の岩間に身を隠した。16 そして山と岩に向かってこう言い続ける。「われわれにかぶさってくれ。王座に座っている方の顔から、また子羊の憤りから、われわれを隠してくれ。17 あの方々の憤りの大いなる日が来たからだ。誰が立っていられるだろうか」

9. 大患難の時、エホバに仕える人たちが目立つ存在になるのはなぜですか。その結果、どんなことが起きますか。

9 ①この緊迫した時に、エホバに忠実に仕える人たちは、ほかとは違う存在として目立つことになります。エホバに仕え、「野獸」を支持することを拒む人たちは、地上にほかにはいないからです。（[啓 13:14-17](#) この野獸は、初めの野獸の前で行うことを許された奇跡(d*しるし)によって、地上に住む人々を惑わす。また、剣の一撃を受けたものの回復した野獸のために像を造るようにと、地上に住む人々に言う。15 そして、野獸の像に命を吹き込むことを許された。それによって野獸の像は話すようになり、野獸の像を崇拜することを拒む人たち全てを殺させる。16 初めの野獸はさらに、あらゆる人、すなわち、小さな者にも大きな者にも、裕福な者にも貧しい者にも、自由な者にも奴隸にも、右手か額に印を受けさせる。17 そして、その印、つまり野獸の名である数字を記されている者以外は、誰も売り買ひできないようになる）②こうした確固とした態度を取るので、エホバに反対する人たちからの怒りを買うことになります。そして、諸国家の連合体は、エホバに仕える世界中の人たちを攻撃します。この行動は、聖書の中で、マゴグのゴグによる攻撃として描かれています。（[エゼ 38:14-16](#) それで、人の子よ、ゴグに預言しなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『私の民イスラエルが安らかに暮らしている日に、あなたはそのことを気に留めないのだろうか。15 あなたは自分の場所から、北の果てから、多くの民と共にやって来る。彼らは皆が馬に乗り、大勢いて、大軍を成している。16 あなたは土地を覆う雲のように、私の民イスラエルを攻める。私は最後の日々に、私の土地をあなたに攻めさせる。それは、ゴグよ、私がさまざまな國の民の目の前で、あなたを通して自分を神聖なものとする時、それらの民が私を知るようになるためである』）

10. [啓示 19章 19-21節](#)によると、エホバはご自分に仕える人たちに対する攻撃にどう反応しますか。

10 この悪辣な攻撃に対して、エホバはどのように反応するでしょうか。エホバは、「私の非常に激しい怒りが燃え上がる」と述べています。（[エゼ 38:18](#) 主権者である主エホバはこう宣言する。『その日、ゴグがイスラエルに攻め込む日に、私の非常に激しい怒りが燃え上がる、[21-23](#) 主権者である主エホバはこう宣言する。『私は、私の全ての山の上で剣に呼び掛け、ゴグを攻めさせる。全ての人の剣は自分の兄弟に向けられる

。 22 私は疫病と流血をもってゴグに刑を執行する。そして、激しい雨とひょうと火と硫黄を、ゴグとその兵の上に、また共にいる多くの民の上に降らせる。 23 私は必ず自分があがめられるようにし、自分を神聖なものとし、多くの国の人々の目の前で自分について知らせる。『彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる』) そして、啓示 19 章には、その次に何が起きるかが書かれています。エホバは、**ご自分に仕える人たちを守り、敵を打ち負かすために、独り子イエスを遣わします。**イエスは、忠実な天使たちと 14 万 4000 人から成る「天の軍勢」と共に戦います。 (啓 17:14) **彼らは子羊と戦いますが、子羊は主の中の主、王の中の王ですから、彼らを征服します。子羊と共にいる者たち、招かれ、選ばれた忠実な者たちも、征服します。** 19:11-15 私が見ていると、天が開かれ、白い馬が現れた。それに乗っている者は、忠実で真実な方と呼ばれ、正しく裁き、正義のために戦う。 12 この方の目は燃える炎のようであり、頭には多くの王冠がある。この方には、ほかの誰も知らない名が記されている。 13 この方は血に染まった(if*血が振り掛けた)外衣を着ており、神の言葉という名で呼ばれている。 14 天の軍勢が、白くて清い上等の亜麻布の衣服を着て、白い馬に乗り、この方の後に従っていた。 15 この方の口からは長くて鋭い剣が突き出ており、それによって国々を討つ。また、この方は鉄のつえをもつて人々を処罰し(*治め)，全能の神の激しい怒りの搾り場でブドウを踏む) その結果、**エホバに反対する人たちと組織全てが、完全に滅ぼされます。** (啓 19:19-21) **さらに見ると、野獣と地上の王たちとその軍勢が、馬に乗っている方とその軍勢に対して戦うために集まっていた。** 20 そして、野獣は捕らわれ、野獣の前で奇跡(d*しるし)を行った偽預言者も捕らわれた。偽預言者は、野獣の印を受けた者たちと野獣の像を崇拜する者たちを、奇跡(d*しるし)によって惑わしていたのである。野獣も偽預言者も生きたまま、硫黄が燃える火の湖に投げ込まれた。 21 ほかの者たちは、馬に乗っている方の口から出ている長い剣で殺された。全ての鳥が彼らの肉で満腹になった

戦いの後、子羊が結婚する

11. 「啓示」の書の最高潮として、②どんなことが生じますか。

11 ①**神の敵たちが完全に滅ぼされた後、生き残った忠実な人たちほどどんな気持ちになるでしょうか。大きな喜びを感じるに違いありません。大いなるバビロンが滅ぼされると、天では大きな喜びの叫びが上がります。** とはいって、②**さらに喜ばしいことが生じます。** (啓示 19:1-3) **その後、私は大きな群衆の大声のようなものが、天でこう言うのを聞いた。「ヤハを賛美しなさい(*ハレルヤ。ヤハはエホバの短縮形)！救いと栄光と力は私たちの神のものです。** 2 神の裁きは真実で正しいからです。性的不道徳(*)によって地上を腐敗させた**大娼婦を、神は処罰し、彼女の手に付いたご自分の奴隸たちの血の復讐をしました**。 3 そしてすぐ、再びこう言った。「ヤハを賛美しなさい(*ハレルヤ)！彼女から出る煙は永久に立ち上ります」) 「啓示」の書の最高潮として、「**子羊が結婚する**」のです。 (啓 19:6-9) **そして私は、大きな群衆の声のような、大きな滝(d*多くの水)の音のような、激しい雷鳴のようなものが、こう言うのを聞いた。「ヤハを賛美しなさい(*ハレルヤ。ヤハはエホバの短縮形)！全能の神エホバ(*)は王として治め始めたからです。** 7 喜んで、歓喜し、神をたたえましょう。 **子羊が結婚する時が来て、花嫁の支度ができたからです。** 8 花嫁は、輝く、清い、上等の亜麻布の衣服を着ることを許されました。上等の亜麻布は、聖なる人たちの正しい行いを表します。 9 天使は私に、「こう書きなさい。子羊の結婚の晚餐に招かれた者たちは幸福です」と言い、さらにこう言った。「これらは神の真実な言葉です」)

12. 啓示 21 章 1, 2 節からすると、子羊が結婚するのはいつですか。

12 子羊が結婚するのはいつのことでしょうか。 **ハルマゲドンの戦争の直前までに、14 万 4000 人は天にそろっています。** でも、その時に子羊が結婚するのではありません。 (啓示 21:1, 2) **また私**

は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去っており、海はもはやない。2 さらに見ると、聖なる都市である新しいエルサレムが、花婿のために着飾った花嫁のように、天から、神のもとから下ってきたを読む。) 子羊が結婚するのは、ハルマゲドンの戦争が終わり、神の敵全てが除かれた後です。 (詩編 45:3, 4 力の強い方、あなたが剣を腰に帯びますように。威厳と輝きのうちに。4 輝きを帯びて勝利(*成功)へと進みますように。真理と謙遜と正義のために乗り進みますように。あなたの右手は驚くことを成し遂げる、13-17 宮殿の中にいる王の娘は息をのむほど美しい。衣装は金で飾られている。14 彼女は見事に織り合わされた衣服(if*刺しゅう入りの長い衣服)を着て王のもとに連れてこられる。後に続く付き添いの乙女たちもあなたの前に連れてこられる。15 喜びと歓喜にあふれて連れてこられ、王の宮殿に入る。16 あなたの子たちは父祖たちに取って代わる。あなたは彼らを全世界で高官に任命する。17 私はあなたの名がいつの時代までも知られるようにする。それで人々はあなたをいつまでも永遠に賛美する)

II. 子羊の結婚によってどんなことが起きますか。

13. 子羊の結婚によってどんなことが起きますか。

13 子羊の結婚によってどんなことが起きるでしょうか。結婚が1人の男性と1人の女性を結び合わせるのと同じように、子羊の結婚は、王であるイエス・キリストと「花嫁」である14万4000人を結び合せます。この結婚の後、14万4000人はイエスと共に1000年の間地上を統治することになります。 (啓20:6 第一の復活で生き返る者は、幸福な者、聖なる者である。その者たちに対して、第二の死は何の力(*権威)もない。彼らは神とキリストの祭司となり、1000年の間キリストと共に王として治める)

輝かしい都市とあなたの将来

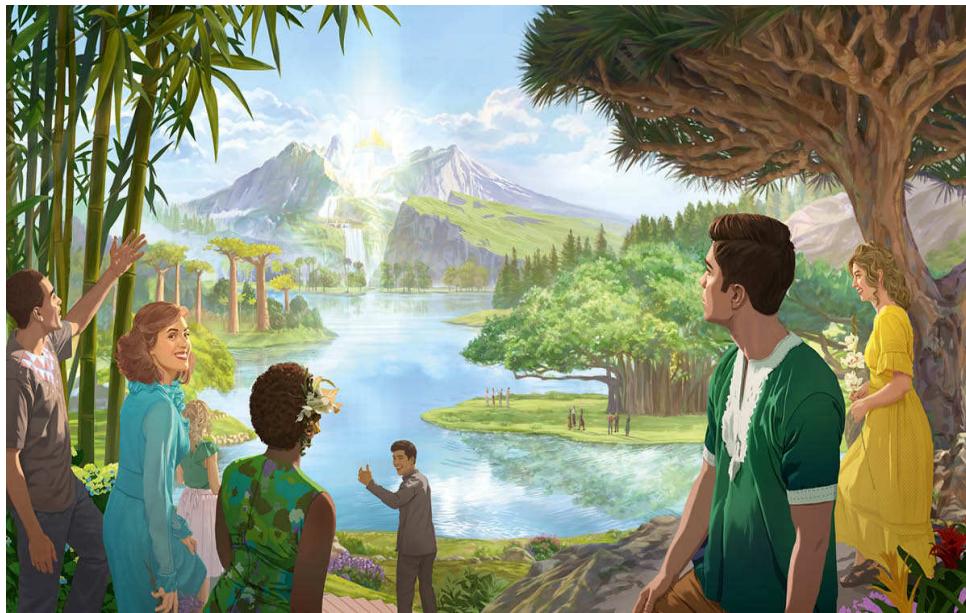


啓示21章には、象徴的な都市である新しいエルサレムが「天から、神のもとから下って」くることが述べられている。千年統治の期間中、新しいエルサレムを通してさまざまな祝福がもたらされる。 (14-16節を参照。)

14-15. 啓示 21 章では、14万4000人がどのように描かれていますか。（表紙の絵を参照。）

14 啓示 21 章では、14万4000人が「新しいエルサレム」と呼ばれる非常に美しい都市としても描かれています。（啓 21:2 さらに見ると、聖なる都市である新しいエルサレムが、花婿のために着飾った花嫁のように、天から、神のもとから下ってきた、9 最後の7つの災厄で満ちた7つの鉢を持つ7人の天使の1人が来て、私にこう言った。「来なさい。子羊の妻となる花嫁を見せましょう」）この都市には12の土台石があり、それには「子羊の12使徒の12の名前」が刻まれていました。このことにヨハネが目を留めたのはどうしてでしょうか。土台石の1つに自分の名前が刻まれていたからです。何と名誉なことでしよう。（啓 21:10-14 その天使は、聖なる力によって私を大きな高い山に連れていき、聖なる都市エルサレムを見てくれた。その都市は天から、神のもとから下ってきて、11 神の栄光によって輝いていた。その輝きは極めて貴重な宝石のようであり、澄み切った水晶のように輝く碧玉に似ていた。12 都市には大きくて高い城壁があり、12 の門があった。門には12人の天使があり、イスラエルの子孫の12部族の名前が刻まれていた。13 東に3つの門、北に3つの門、南に3つの門、西に3つの門があった。14 都市の城壁には12の土台石もあり、それには子羊の12使徒の12の名前が刻まれていた。エフェ 2:20 皆さんは使徒や預言者たちという土台の上に建てられており、キリスト・イエスは土台の隅石です）

15 この象徴的な都市は、ほかの都市とは全く異なっています。大通りは純金で、12 の門は真珠でできており、城壁と土台はさまざまな宝石で彩られています。そして、この都市の形は立方体です。（啓 21:15-21 私と話していた天使は金のアシを持っていました。それを物差しとして使い、都市と門と城壁を測るためだった。16 都市は四角い形をしており、長さと幅は同じである。天使がアシで都市を測ると、2220キロだった。長さも幅も高さも等しい。17 天使は都市の城壁も測った。それは人間の尺度によると64メートル($d*144$ キュビト)であり、天使もその尺度を用いた。18 城壁は碧玉でできていた、都市は澄み切ったガラスのような純金でできていた。19 都市の城壁の土台はあらゆる種類の宝石で彩られていた。第1の土台は碧玉、第2はサファイア、第3は玉髓、第4はエメラルド、20 第5は赤しまめのう、第6は赤めのう、第7はかんらん石、第8は緑柱石、第9はトパーズ、第10は緑玉髓、第11はヒヤシンス、第12は紫水晶だった。21 また、12の門は12の真珠であり、それぞれの門が1つの真珠でできていた。都市の大通りは、透き通ったガラスのような純金でできていた）しかし、ヨハネは何かが足りないことに気付きます。こう述べています。「都市の中に神殿はなかった。全能の神エホバと子羊が、都市の神殿だからである。またこの都市は、太陽や月に照らされる必要がない。神の栄光が都市を明るく照らし、子羊が都市の明かりだからである」。（啓 21:22, 23 都市の中に神殿はなかった。全能の神エホバ(*)と子羊が、都市の神殿だからである。23 またこの都市は、太陽や月に照らされる必要がない。神の栄光が都市を明るく照らし、子羊が都市の明かりだからである①）新しいエルサレムを構成する者たちは、エホバに直接近づくことができます。（ヘブ 7:27 この方は、ほかの大祭司とは違い、まず自分自身の罪のために、次いで民の罪のために、毎日犠牲を捧げる必要はありません。自分を捧げた時、一度で永遠に有効な犠牲を捧げたからです。啓 22:3, 4 もはや災いはなくなる。神と子羊の座が都市の中にあり、神の奴隸たちは神に神聖な奉仕をする。4 彼らは神の顔を見ることになり、額に神の名を記される）ですから、エホバとイエスがこの都市の神殿なのです。



誰が、「川」と「木」で表されている祝福を経験するか。（16-17節を参照。）

III. エホバに忠実に仕える人たちは、どんな祝福を経験しますか。

16. 神の王国の千年統治の期間中に地上にいる人たちは、どんなことを経験しますか。

16 天に行くクリスチャンは、この都市について考えると、わくわくすることでしょう。とはいえる、地上で生きる希望を持っている人たちも、深い関心を持つべきです。神の王国の千年統治の期間中、新しいエルサレムを通してさまざまな祝福がもたらされます。こうした祝福に関連して、ヨハネは「命の水の川」が流れ出るのを見ました。その川の両側には「命の木」があり、その葉は「人々を癒やすためのもの」でした。（[啓 22:1, 2](#) また天使は、命の水の川を私に見せてくれた。その川は水晶のように澄み切っていて、神と子羊の座から流れ出ており、2都市の大通りの中央を流れていた。川の両側には命の木があった。それらの木は年に12回、毎月実を結び、木の葉は人々を癒やすためのものだった）千年統治の期間中に地上に生きている人たちは全て、こうした祝福を経験します。エホバに従う人たちは、徐々に完全さへと引き上げられます。病気も苦痛も悲しみの涙ももはやなくなるのです。（[啓 21:3-5](#) その時、王座から大きな声がした。「見なさい！神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」。5そして、王座に座っている方が、「見なさい！私は全てのものを新しくしている」と言い、さらにこう言った。「書きなさい。これらの言葉は信頼でき(*確かに)、真実である」）

17. [啓示 20章 11-13節](#)によると、どんな人が千年統治の期間中に祝福を経験しますか。

17 誰がこうした祝福を経験するのでしょうか。まず挙げられるのは、ハルマゲドンを生き残った大群衆と、新しい世界で生まれてくるであろう子供たちです。そして、[啓示 20章](#)には、生き返ってくる人たちがいることが述べられています。（[啓示 20:11-13](#) また私は、大きな白い王座とそれに座っている方を見た。その方の前から地と天が逃げ去り、もはや見られなくなった。12さらに見ると、死んだ人々が、大きな者も小さな者も、王座の前に立っており、数々の巻物が開かれた。別の巻物、すなわち命の巻物も開かれた。）

死んだ人々は、数々の巻物に書かれている事柄に基づき、各自の行いに応じて裁かれた。13海はその中の死者を出し、死と墓(ギ語ハデス)もその中の死者を出し、その人々は各自の行いに応じて裁かれたを読む。) 「正しい人」、つまり死に至るまで忠実を保った人に加えて、「正しくない人」、つまりエホバについて学ぶ機会が十分にはなかった人たちが、千年統治の間に地上に復活してきます。(使徒24:15また、私はこの方たちと同じ希望を持っております。神が正しい人も正しくない人も復活させてくださるという希望です。

ヨハ5:28、29このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来ます。29良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます) では、死んだ人全てが復活してくるということでしょうか。そうではありません。生きている間にエホバに仕えるチャンスがあったにもかかわらず、それをあえて避け、楽園となった地球で生きるのにふさわしくない者であることを自ら示した人々は、復活することはありません。(マタ25:46この人々は永遠の死を迎える、正しい人々は永遠の命を受けます。テサニ1:9こうした人々は、永遠の滅びという処罰を受け、主の前から避けられ、主の偉大な力から切り離されます。啓17:8あなたが見た野獸はかつてはいたものの今はおらず、後に現れるのを見る時、驚きます;20:15命の書に名前が書かれていらない者は皆、火の湖に投げ込まれた)

最後の試練

18.1000年の終わりまでに地球はどうなっていますか。

18 1000年の終わりまでに、地上に住む全ての人は完全になっています。アダムから受け継いだ罪に苦しめられる人は、もう誰もいません。(ロマ5:12このような訳で、1人の人によって人類に罪(*)が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がったように—)アダムが犯した罪の結果生じたさまざまな悪いことは全て除かれています。こうして、地上の人々は1000年の終わりにいわば「生き返り」り、完全な人間となっているのです。(啓20:5(残りの死者は1000年が終わるまで生き返らなかった。))

19.最後の試練が必要なのはなぜですか。

19 イエスは、妥協させようとするサタンからの誘惑を退け、試練の下でも忠実を保ちました。完全になった人間全ては、サタンから試される時、同じように忠実を保つでしょうか。1000年の終わりに、サタンが底知れぬ深みから解放される時、一人一人がこの質問に答えを出すことになります。(啓20:71000年が終わるとすぐ、サタンは牢獄から解放)最後の試練の下でも忠実を保つ人々は、永遠の命を得て、ついに真の自由を味わうことになります。(ロマ8:21創造物も腐敗への奴隸状態から自由にされ、神の子供の輝かしい自由を得るという希望)一方、反逆する人々は、サタンや邪悪な天使たちと共に永遠に滅ぼされることになります。(啓20:8-10彼は出ていって、地の四方にいる人々(*国民)、ゴグとマゴグを惑わし、戦争のために集める。その人々の数は海の砂のようである。9彼らは地上全体に広がって進み、聖なる人たちの宿営と愛されている都市を取り囲んだ。しかし、天から火が降ってきて彼らを焼き尽くした。10そして、人々を惑わしていた悪魔は火と硫黄の湖に投げ込まれた。そこにはすでに野獸と偽預言者もおり、彼らは永久に昼も夜も苦しめられる(*拘束される))

20. 「啓示」の書の預言を学んで、どんな気持ちになりましたか。

20 「啓示」の書についてここまで学んできた、どんな気持ちになりましたか。この素晴らしい預言に自分も関係しているということを知って、わくわくしたのではないでしょか。そして、エホバへの清い崇拝に人々を招きたいという気持ちになったことでしょう。 (啓 22:17 聖なる力(*)によって花嫁は、「来なさい！」と言い続ける。それを聞く人も、「来なさい！」と言いなさい。喉が渇いている人は来なさい。命の水が欲しい人は、無償で飲みなさい) 将来に起きる事柄について考えた今、私たちは心が高鳴り、次のように述べたヨハネと同じ気持ちになっているに違いありません。「アーメン！主イエス、来てください」。 (啓 22:20 これらのことについて伝える者がこう言います。『私は速やかに来ます』)。 「アーメン！主イエス、来てください」)

どのように答えますか

- I. 私たちは今、どんな決定を迫られていますか。
- II. 子羊の結婚によってどんなことが起きますか。
- III. エホバに忠実に仕える人たちは、どんな祝福を経験しますか。

27 番の歌 神の子たちが明らかにされる

^(啓 22:20) これらのことについて伝える者がこう言います。『私は速やかに来ます』)。 「アーメン！主イエス、来てください」。

^(マタ 25:31-33) 人の子は栄光を帶びて、全ての天使と共に来ると、その時、栄光の座に座ります。 32 全ての国の人々が彼の前に集められ、人の子は、羊飼いが羊をヤギから分けるように、人々を分けます。 33 そして羊を自分の右に、ヤギを自分の左に置きます。

^(マタ 25:46) この人たちは永遠の死を迎える、正しい人たちは永遠の命を受けます」。